

「よし笛」と「コカリナ」によるやすらぎのメロディーを…… 歌のボランティアグループ・ほっとらいん



夫婦で地域に根ざした音楽活動を30年以上続けている近江八幡在住のグループ。その演奏の場はホールの中だけに留まらず、ヨシ刈りや様々な自然環境をテーマにしたイベント、琵琶湖岸から黒四ダムの展望台まで、要望に応じてどんなところへも精力的に出かけて行き、やすらぎの音楽を奏でています。

インターネットでは平仮名の「ほっとらいん」を検索してください。

<http://www.i-honky.com/hotline/>



【琵琶湖よし笛】

近江八幡円山町の葦(よし)を使って1999年に菊井^{まぐい さとる}了氏が考案・創作されたもの。長さ24cm・重さ15gの非常に軽い縦笛。リコーダーに似た運指で、比較的簡単に演奏できます。素朴で柔らかな優しい音色が特徴で、琵琶湖を渡る風の歌声のようです。



【コカリナ】

ハンガリー生まれの楽器で、木で出来た小さなオカリナということから「コカリナ」と名付けられました。わずか8cmの小さな笛ですが、1オクターブ以上の音階を出せます。心にしみる澄み切った音色が特徴で、木立を抜けて山々にこだまする天使の歌声のようです。